

水稲用一発処理除草剤

展示圃用技術資料

アットカズ

®

®は協友アグリ(株)の登録商標です。



1キロ粒剤

ジャンボ

フロアブル

400FG

問題雑草を圧倒!

幅広い草種に効果のある3成分を配合!

ノビエ、オモダカなど主要な雑草はもちろん、

近年問題となるイボクサ、クサネム、ホソバヒメミソハギなどの

特殊雑草対策にもおすすめです。

ピラクロニル

効果の発現が非常に速く、
ノビエ、SU抵抗性雑草など
幅広い雑草に高い効果。

アットカZ

プロピリスルフロン

高葉齢のノビエも防除可能。
多年生難防除雑草(オモダカ、
クログワイ、コウキヤガラ等)
に高い効果。

テフリトリオン

SU抵抗性を含むホタルイ、
コナギ、オモダカに高い効果。
イボクサなどの
特殊雑草を防除。

■殺草スペクトラム

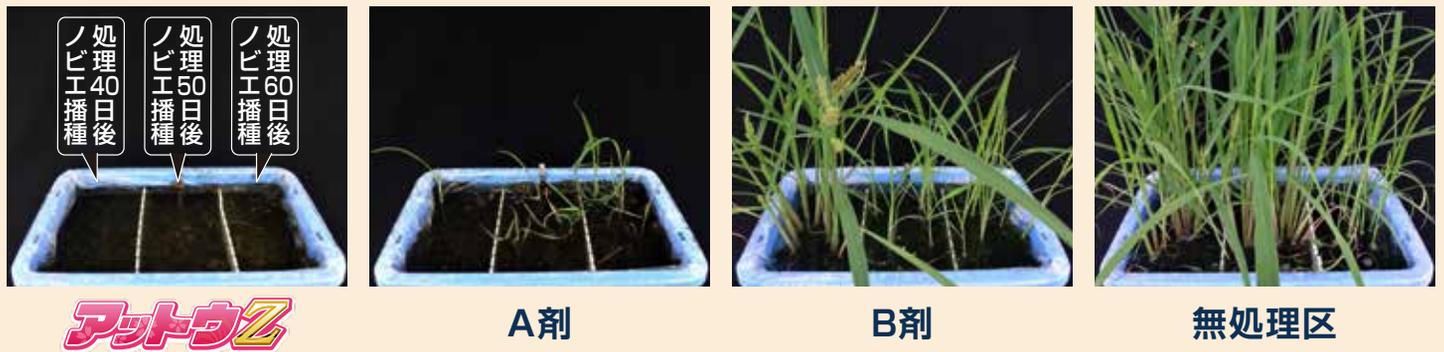
雑草名	ノビエ	カヤツリグサ	コナギ	その他広葉	マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミスガヤツリ	ウリカワ	ヒルムシロ	クログワイ	オモダカ	セリ
有効成分及び薬剤名													
ピラクロニル	●	●	●	●	●	◎	●	○	◎	◎	◎	◎	×
プロピリスルフロン	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
テフリトリオン	○	●	●	●	◎	●	●	●	●	●	◎	◎	◎
アットカZ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

除草効果：●極大 ◎大 ○中 △小 ×無

ノビエを長く圧倒

■ノビエへの長期残効性

2020年 協友アグリ(株)研究所



試験規模：コンテナ(232×133mm)3連制
供試草種：タイヌビエ

供試薬量：1キロ粒剤 1kg/10a
調査時期：処理90日後
播種時期：処理40日後、50日後、60日後

ノビエに対して長期残効が認められた

手ごわいクログワイを圧倒

■クログワイの塊茎数抑制効果(塊茎掘り取り調査)

2018年 協友アグリ(株)研究所



試験規模：1/5000a 3連制
供試薬量：1キロ粒剤 1kg/10a
供試草種：クログワイ
処理時期：発生前(埋込1日後)
調査時期：処理196日後

クログワイに対して高い効果が認められた

＊SU抵抗性雑草を圧倒

■SU抵抗性ホタルイ(3葉期)に対する効果

2019年 協友アグリ(株)研究所

アットウZ

D剤

E剤

無処理区



試験規模：1/5000a 2連制
供試草種：SU抵抗性ホタルイ(Trp574変異)

供試薬量：1キロ粒剤 1kg/10a
処理時期：3葉期 調査時期：処理60日後

SU抵抗性ホタルイに対して高い効果を示した

■SU抵抗性オモダカ(発生始期)に対する効果

2019年 協友アグリ(株)研究所

アットウZ

B剤

F剤

無処理区

処理前



10日後



20日後



30日後



試験規模：1/5000a 3連制
供試草種：SU抵抗性オモダカ(Trp574変異)

供試薬量：1キロ粒剤 1kg/10a
処理時期：発生始期 調査時期：処理10日後、20日後、30日後

SU抵抗性オモダカに対して高い効果を示した

特殊雑草を圧倒

■イボクサ(再生始期)に対する効果

2020年 協友アグリ(株)研究所

アットウZ

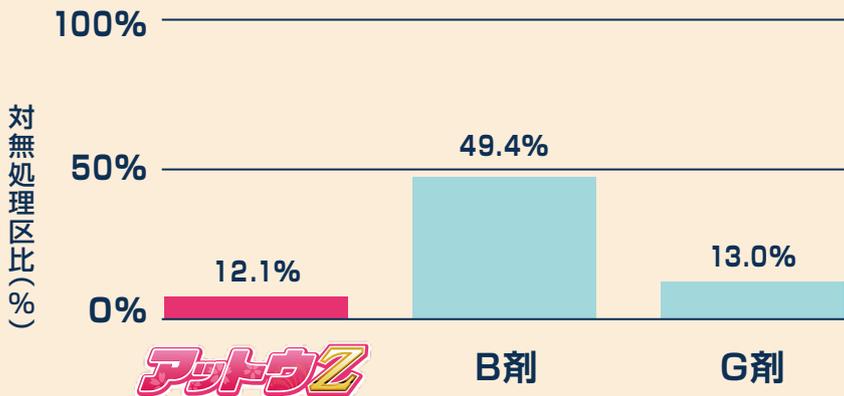
B剤

G剤

無処理区



平均乾燥重量



試験規模 : 1/5000a 3連制
 供試薬量 : 1キロ粒剤 1kg/10a
 (G剤はジャンボ 300g/10a)
 供試草種 : イボクサ
 処理時期 : 再生始期
 調査時期 : 処理50日後

イボクサに対して高い効果を示した

■(参考)ピラクロニルのクサネムに対する効果

2013年 協友アグリ(株)研究所

ピラクロニル

供試薬量 : 20g a.i./10a相当量

H剤

供試薬量 : 30g a.i./10a相当量

I剤

供試薬量 : 20g a.i./10a相当量

無処理

播種
10日後



播種
30日後



水管理 : 代かき翌日に薬剤処理を実施。

播種まで湛水深3cmを維持。

播種当日に排水し、10日間中干し状態を維持した後、再度入水。

試験規模 : 1/5000a 3連制

播種時期 : 処理50日後

調査時期 : 播種10日後、30日後

クサネムに対して高い効果を示した

多種多様な散布の方法



ラジコンボート
散布



無人航空機散布



田植同時処理



水口施用



ジャンボの
なげこみ処理

簡単&省力！ 新製剤「FG剤」

FG剤は水面に浮きながら速やかに自己拡散する製剤です。
有効成分は風と圃場の水流により、圃場全体に拡がります。

1ha規模の大規模圃場でも、中に入って散布する必要はありません。

作業労力や散布時間を軽減する省力散布が可能です。

畦畔散布(湛水周縁散布)に加えて、多くのドローン機種で散布可能です。



散布方法の
動画は
こちらから



畦畔散布



粒の形状



中に入らず畦畔から散布。水面に浮きながら速やかに拡散。



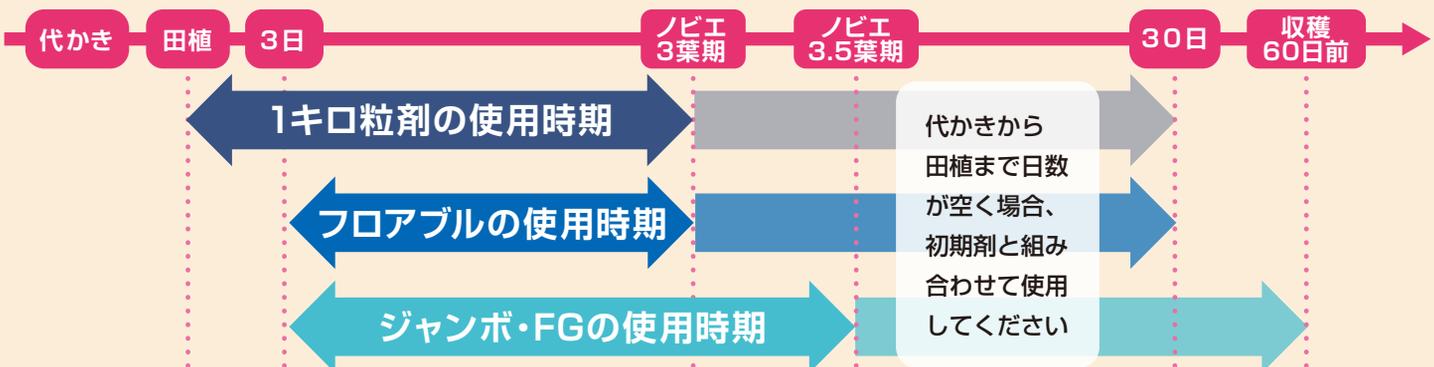
ドローン散布



圃場の中央を往復して
散布できます。畔際の散布は
必要ありません。

※薬剤は一筆ごとに計量が
必要です。

アットウZの使用時期



多年生雑草は、発生期間が長期間に及びます。多発生圃場等では有効な後処理剤と組み合わせる使用してください。散布適期は地域により違いがあります。

幅広い草種を圧倒



ノビエ



ホタルイ



ウリカワ



コナギ



イボクサ



ホンバヒメミソハギ



コウキヤガラ



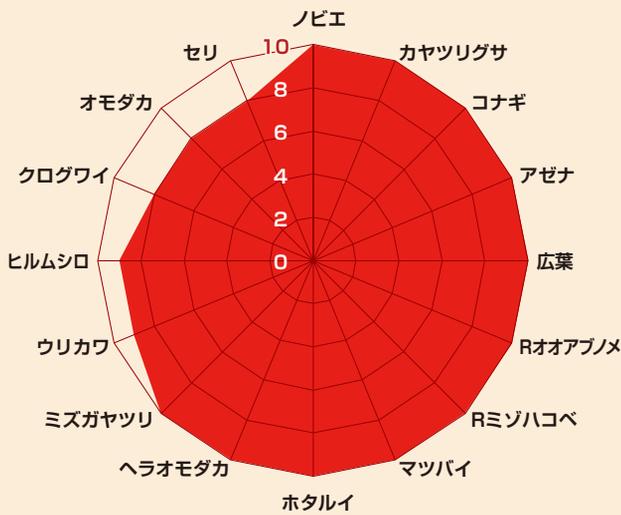
オモダカ



クログワイ



クサネム



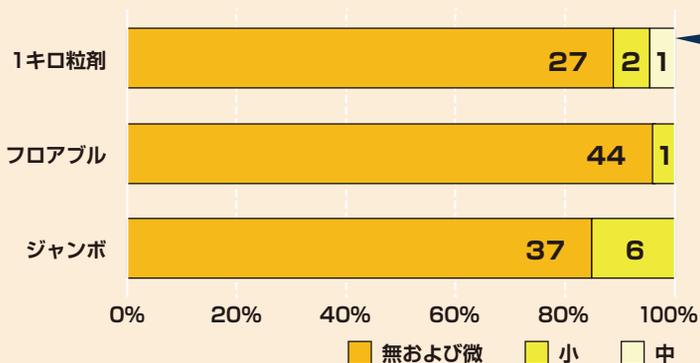
2017~2018年日植調委託試験成績より各草種の残草量に基づいたレーダーチャート

残草量	1%未満	1~2%未満	2~10%未満	10~20%未満	20~40%未満	40%~
点数	10	9	8	6	4	0

試験例数: 200例 処理時期: +0~ノビエ3葉期

アットウZは幅広い水田雑草に高い活性を示した

水稲に対する安全性



(2017~2018年日植調委託試験成績: 北海道を除く)

●砂壤土 ●田植同時処理

アットウZ3剤型、合計118試験の内、大半が薬害無~微であり、水稲に対する高い安全性が確認されました。

アットウZは高い安全性を示した

適用雑草の範囲及び使用方法

アットウズ 1キロ粒剤

■有効成分(一般名) ビラコニル:2.0% プロピリスルフロンの0.9% テフリルトリオン:2.0% ■人畜毒性:普通物* *毒物及び劇物に該当しないものを指している通称 ■農林水産省登録 第24325号

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	総使用回数	使用方法	雑草名	散布適期
移植水稲	一年生雑草及び多年生広葉雑草、アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	1kg/10a	本剤 1回 ビラコニル剤 2回 プロピリスルフロンの0.9% 2回 テフリルトリオン剤 2回	田植同時散布機で施用	ホタルイ、ウリカワ	3葉期まで
		移植直後～ノビエ3葉期 ただし、移植後30日まで				ヘラオモダカ	2葉期まで
直播水稲	一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ3葉期 ただし、収穫90日前まで	1kg/10a	本剤 1回 ビラコニル剤 2回 プロピリスルフロンの0.9% 2回 テフリルトリオン剤 2回	湛水散布又は無人航空機による散布	ミスガヤツリ	20cmまで
		ヒルムシロ				発生期まで	
						セリ	再生期まで
						コウキヤガラ	発生始期まで
						シズイ	3cmまで
						アオミドロ・藻類による表層はく離	発生前
						オモダカ、クログワイ	発生前～発生始期まで

アットウズフロアブル

■有効成分(一般名) ビラコニル:3.8% プロピリスルフロンの1.7% テフリルトリオン:3.8% ■人畜毒性:普通物* *毒物及び劇物に該当しないものを指している通称 ■農林水産省登録 第24326号

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	総使用回数	使用方法	雑草名	散布適期
移植水稲	一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ミスガヤツリ、ウリカワ、ヒルムシロ、ヘラオモダカ、セリ、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ エゾノサヤヌカガサ	移植後3日～ノビエ3葉期 ただし、移植後30日まで	500mℓ/10a	本剤 1回 ビラコニル剤 2回 プロピリスルフロンの1.7% 2回 テフリルトリオン剤 2回	原液湛水散布、水口施用又は無人航空機による滴下	ホタルイ	3葉期まで
		ヘラオモダカ、ウリカワ				2葉期まで	
直播水稲	一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ3葉期 ただし、収穫90日前まで	500mℓ/10a	本剤 1回 ビラコニル剤 2回 プロピリスルフロンの1.7% 2回 テフリルトリオン剤 2回	原液湛水散布、水口施用又は無人航空機による滴下	ミスガヤツリ	20cmまで
		ヒルムシロ				発生期まで	
						セリ	再生期まで
						コウキヤガラ	発生始期まで
						オモダカ、クログワイ	発生前～発生始期まで
						エゾノサヤヌカガサ	発生始期まで

アットウズジャンボ

■有効成分(一般名) ビラコニル:5.0% プロピリスルフロンの2.25% テフリルトリオン:5.0% ■人畜毒性:普通物* *毒物及び劇物に該当しないものを指している通称 ■農林水産省登録 第24323号

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	総使用回数	使用方法	雑草名	散布適期
移植水稲	一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、ミスガヤツリ、ウリカワ、ヒルムシロ、セリ、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後3日～ノビエ3.5葉期 ただし、収穫60日前まで	小包装(パック) 10個(400g)/10a	本剤 1回 ビラコニル剤 2回 プロピリスルフロンの2.25% 2回 テフリルトリオン剤 2回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる	ホタルイ、ウリカワ	5葉期まで
		ヘラオモダカ				2葉期まで	
直播水稲	一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ3葉期 ただし、収穫60日前まで	小包装(パック) 10個(400g)/10a	本剤 1回 ビラコニル剤 2回 プロピリスルフロンの2.25% 2回 テフリルトリオン剤 2回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる	ミスガヤツリ、クログワイ	20cmまで
		ヒルムシロ				発生期まで	
						セリ	再生期まで
						オモダカ	矢じり葉2葉期まで
						コウキヤガラ	発生始期まで
						アオミドロ・藻類による表層はく離	発生前

アットウズ400FG

■有効成分(一般名) ビラコニル:5.0% プロピリスルフロンの2.25% テフリルトリオン:5.0% ■人畜毒性:普通物* *毒物及び劇物に該当しないものを指している通称 ■農林水産省登録 第24324号

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	総使用回数	使用方法	雑草名	散布適期
移植水稲	一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、ミスガヤツリ、ウリカワ、ヒルムシロ、セリ、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後3日～ノビエ3.5葉期 ただし、収穫60日前まで	400g/10a	本剤 1回 ビラコニル剤 2回 プロピリスルフロンの2.25% 2回 テフリルトリオン剤 2回	湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布	ホタルイ、ウリカワ	5葉期まで
		ヘラオモダカ				2葉期まで	
直播水稲	一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ3葉期 ただし、収穫60日前まで	400g/10a	本剤 1回 ビラコニル剤 2回 プロピリスルフロンの2.25% 2回 テフリルトリオン剤 2回	湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布	ミスガヤツリ、クログワイ	20cmまで
		ヒルムシロ				発生期まで	
						セリ	再生期まで
						オモダカ	矢じり葉2葉期まで
						コウキヤガラ	発生始期まで
						アオミドロ・藻類による表層はく離	発生前

⚠ 使用上の注意事項 (抜粋)

■4製剤に共通する注意事項

- 多年生雑草は生育段階によって効果が異なるので、必ず適期に使用するよう注意してください。
- 本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 著しい降雨が予想される場合には除草効果が低下するおそれがあるので散布を控えてください。
- 軟弱苗を移植した水田、極端な浅植えをした水田、極端な深水となった水田及び砂質土で漏水の大きな水田(減水深2cm/日以上)では、薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- 直播水稲栽培では、稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 本剤散布後の田面水を他作物に灌水しないでください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないよう注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。
- 特に初めて使用する場合や異常気象の場合は、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 浅植や、浮き苗が生じないように、代かき、均平作業及び植え付けは行わないで行ってください。
- 未熟有機物を施用した場合は、特にいねいに行ってください。
- 蜜に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 本剤は、その殺草特性から、いくさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合、十分注意してください。

■1キログラム粒剤の注意事項

- 散布に当たっては、水の出入りを止め、湛水状態(3～5cm)で均一に散布してください。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く遅い発生のもので十分効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 本剤処理後に低温又は高温が続くと予想される場合は薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- フロアブルの注意事項
- 使用前に容器を軽く振ってください。
- 散布の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 水口施用の場合は、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させ、処理後田面水が通常の湛水状態に達したときに必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意してください。
- 原液湛水散布に当たっては、水の出入りを止め湛水状態(水深3～5cm)で本剤が水田全面にいきわたるように散布してください。
- ジャンボの注意事項
- 本剤は小包装(パック)のまま、10アール当たり10個の割合で水田に均等に投げ入れてください。
- 直射日光を避け、食品と区別して、子供の手のとどかないなるべく低温で乾燥した場所に密閉して保管してください。
- バックに使用しているフィルムは水溶性なので、濡れた手で作業したり、降雨で破袋することがないようにしてください。
- 水溶性フィルム包装が破袋した場合は以下の点に注意してください。
- (1) 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し眼科医の手当を受けてください。
- (2) 皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 水溶性フィルムは吸湿性があるので、湿気には十分注意し、使い残りは外袋の口を固く閉じて保管してください。また、強く加圧されると水溶性フィルムが劣化するおそれがあるので下積みにならないようにしてください。
- FGの注意事項
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので、散布の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して薬剤が皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。

■1キログラム粒剤の注意事項

- 散布に当たっては、水の出入りを止め、湛水状態(3～5cm)で均一に散布してください。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く遅い発生のもので十分効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 本剤処理後に低温又は高温が続くと予想される場合は薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- フロアブルの注意事項
- 使用前に容器を軽く振ってください。
- 散布の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 水口施用の場合は、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させ、処理後田面水が通常の湛水状態に達したときに必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意してください。
- 原液湛水散布に当たっては、水の出入りを止め湛水状態(水深3～5cm)で本剤が水田全面にいきわたるように散布してください。
- ジャンボの注意事項
- 本剤は小包装(パック)のまま、10アール当たり10個の割合で水田に均等に投げ入れてください。
- 直射日光を避け、食品と区別して、子供の手のとどかないなるべく低温で乾燥した場所に密閉して保管してください。
- バックに使用しているフィルムは水溶性なので、濡れた手で作業したり、降雨で破袋することがないようにしてください。
- 水溶性フィルム包装が破袋した場合は以下の点に注意してください。
- (1) 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し眼科医の手当を受けてください。
- (2) 皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 水溶性フィルムは吸湿性があるので、湿気には十分注意し、使い残りは外袋の口を固く閉じて保管してください。また、強く加圧されると水溶性フィルムが劣化するおそれがあるので下積みにならないようにしてください。
- FGの注意事項
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので、散布の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して薬剤が皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。

濡れた手で作業したり、降雨で破袋することがないようにしてください。

●水溶性フィルム包装が破袋した場合は以下の点に注意してください。

(1) 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し眼科医の手当を受けてください。(2) 皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。

●水溶性フィルムは吸湿性があるので、湿気には十分注意し、使い残りは外袋の口を固く閉じて保管してください。また、強く加圧されると水溶性フィルムが劣化するおそれがあるので下積みにならないようにしてください。

■FGの注意事項

●本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。

●本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので、散布の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して薬剤が皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。

本資料の記載内容は2022年1月現在の登録内容に基づいています。